学校番号	313

令和３年度　芸術科書道科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「書道Ⅰ」　（東京書籍）						
副教材等	・楷書の手ほどき（教育図書）・硬筆レッスン帳（教育図書）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小学校、中学校の書写で学んだことを発展させ、芸術科書道では用具用材の違いや用筆の違いで、様々な表現ができることを学びます。
・漢字の五書体や日本特有の仮名について理解、表現し、自分のリズムで書く楽しさを経験しましょう。
・身近にある作品を作り、他の様々な書作品に触れることで、書を愛好する心情を育てます

２　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4月	書写と書	・国語科書写と芸術科書道 ・正式書体・略式書体 「比」の字を使った書体の変遷 、仮名の成立	○	○	○	○	a:書写と書道の類似点・相違点、正式書体・略式書体について興味を持ち、今後の学習に意欲的に取り組もうとしている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリ

	道（書体の変遷）						b:国語科書写での基礎・基本を踏まえ表現を工夫している。 c:姿勢や執筆法の基本を身に付け表現している。 d:書道の類似点・相違点、正式書体・略式書体について理解し、さまざまな書のよさを味わっている。	オ 提出作品
5月	姓名印づくり	・自分の名前調べ （篆書体） ・名前の１文字白文印の制作 ・さまざまな篆書を使って書として表現された篆刻に興味を持つ	○	○	○	○	a:名前の篆書体調べを通じて書体の変遷について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている b:篆刻における分間布白を理解し、表現を工夫している。 c:印稿作りにおいて小筆の弾力を活かし、硬筆等にも応用できる技法を身に付け表している。 d:様々な石や銅の印影を鑑賞し、そのよさや美しさを味わっている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
6月 7月 8月	漢字仮名交じりの書（硬筆）	・楷書と行書 ・各書体に合う平かな ・ペン字 （夏期休業中の課題） ・全国硬筆コンクール出品	○	○	○	○	a:国語科書写の基礎的な能力を身に付け、その向上に努め、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。 b:国語科書写で身に付けた基礎的な能力を生かして表現を工夫している。 c:国語科書写で身に付けた基礎的な技能を生かして表現している。 d:日常生活の硬筆の書の効用について理解し、そのよさを味わっている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
9月 10月	漢字の書（臨書）	・楷書（南北朝、唐代の古典を中心にして） ・裏打ち ・文化祭参加作品 ・半紙コンクール出品	○	○	○	○	a:楷書の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:楷書体の基本的な用筆方法を理解し、表現を工夫している。 c:逆筆と順筆、筆の弾力を利用する用筆方法を身に付け表している。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

							d:文字の成り立ちに興味を持ち、代表的な楷書体の古典を知り、そのよさや美しさを味わっている。	
11月 12月	漢字の書（臨書）	・行書（東晋の王羲之、唐の顔真卿、平安の三筆を中心にして） ・カレンダー創作 ・裏打ち	○	○	○	○	a:行書の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:行書体の基本的な用筆方法を理解し、表現を工夫している。 c:逆筆と順筆、筆の弾力を利用する用筆方法を身に付け表している。 d:文字の成り立ちに興味を持ち、代表的な中国と日本の行書体の古典を知り、そのよさや美しさを味わっている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
1月 2月 3月	仮名の書	・淡墨による平仮名、変体仮名の連綿 ・百人一首仮名散らし書き作品創作（掛け軸） ・高校展出品	○	○	○	○	a:墨色について関心を持ち、積極的に表現技法を高めようとしている。 b:仮名独特の用具用材について理解し、単純化された仮名の筆使いを身に着け、散らし書などの表現を工夫している。 c:変体仮名について理解し、筆使いを身に付け表現している。 d:仮名の成立や連綿について理解し、表現しようとしている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　　b:書表現の構想と工夫
c:創造的な書表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。